

オンラインで川口オープンファクトリー

「バーチャル工場見学」やフリー配信

川口商工会議所は「川口オープンファクトリー」を開催。

オープンファクトリーとは、ものづくり企業等が工場や工房を、一般に公開し体験してもらう取り組み。普段見ることができない現場で、実際に作られている様子を見学し、その作り手の想いに触れることで、ものづくりの魅力を感じることができるとしている。

今年度はオンラインで「バーチャル工場見学」ができる。インターネット環境があれば、ホームページ上に3D化された



各工場を自由に見学が可能。ほかフリー配信として、オンラインで市内工場の様々な映像を見ることができるとしている。

期間は2月1日～28日。なおオープンファクトリースピノフ企画として「川口まちごうば芸術祭2022」が3月16日～21日に、川口市立アートギャラリー・アトリアで開催予定。アートと町工場の融合、デザイナーとモノづくり企業のコラボレーションによる製品を展示する。

問い合わせは同会議所(028・2220)へ。

経済産業省 11月生産動態統計

経済産業省が発表した11月の生産動態統計(速報)によると、鉄鋼製品の生産量は前年同月比15.5%増の53433と増加した。

鉄鋼以外の動向を見ると、鋳鋼品の生産量は前年同月比17.7%増の1万3446と増加した。

アルミニウム鑄物の生産量は前年同月比2.1%増の3万5442と増加した。

各種事業の中止

川口鑄物工業協同組合青年部の川口鑄物工業企業研究会(鑄研)伊藤暢宏代表幹事は、1月27日に予定していた「令和

4年新年会」、2月18日から予定していた「県外視察」の開催を中止した。また2月15日に予定されていた川口工業振興協議会青年部による「親睦交流会」は開催中止となった。

いずれも新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑みて決定。

埼玉UBA新春漫談と賀詞交歓会中止

埼玉県中小企業団体青年中央会(埼玉UBA)は、2月2日に予定していた「新春漫談と賀詞交歓会」の開催を中止した。埼玉県でのまん延防止等重点措置の実施等を鑑みて決定。

委員会報告

川口鑄物工業協同組合は1月7日に開いた理事・部会長会、12月の総務・業務両委員会の審議内容に関する報告があった。主な内容は次の通り。

【総務委員会】(佐々木正委員長) ①組合機関紙「川口鑄物ニュース」12月25日号の編集について承②令和4年の賀詞交歓会について検討③11月の財政収支について事務局長から説明があり了承④令和3年度の収支見込について事務局から説明があり了承⑤令和4年度分実績について事務局から報告

脱退

川口鑄物工業協同組合は1月7日の理事会で、株式会社丸安(櫻澤学代表)と池田美術株式会社(池田英介代表)の申請した脱退(自由脱退)を承認した。自由脱退は通知のあった年度の期末になるため、現在109社の組合員数は4月で104社となる。

賛助会員

川口鑄物工業協同組合は1月7日の理事会で、池田美術株式会社(池田英介代表)が申請した脱退、脱退後の賛助会員への加入を承認した。現在8社の賛助会員は4月から10社となる。

ちょっと気になる川口情報 郷土の偉人「伊奈☆忠治」

— 利根川・荒川を開発した代官 —

企画展「伊奈☆忠治 利根川・荒川を開発した代官」が3月13日まで、川口市立文化財センター1分館・郷土資料館(川口市鳩ヶ谷本町2の



写真やイラストなどでわかりやすく展示

1の22)で開催中。「伊奈町、川口市、つくばみらい市が、伊奈氏ゆかりの地」歴史・文化的交流に関する協定を締結したことを記念したもの。川口市の赤山に陣屋を築き、赤山伊奈家の初代として関東各地の開発に関わった伊奈忠治を特集。利根川と荒川の河川改修をはじめ、綾瀬川や

見沼用水の開発など川口市発展の礎ともなった忠治を取り組んだ事跡などのほか、忠治を中心とした伊奈家の歴史を紹介。赤山陣屋を拠点に幅広い地域で活躍した忠治の生涯を、写真やイラストなどを用いながら、わかりやすく展示。訪れた人からもその内容に「満足した」との多くの回答を得ている。

来館特典として、郷土の偉人・伊奈忠治のことがこの一冊でわかる、イラスト満載の歴史絵本「伊奈☆忠治」をプレゼント。先着1300人まで、なくなり次第終了。

入館料は一般100円、小中学生50円。開館9時30分～16時30分。月曜休館。

問い合わせは同館(0283・32652)へ。

鑄鉄・非鉄鑄物10月の生産動向

用途別	令和3年10月			令和3年9月(前月)	令和2年10月(前年同月)
	重量(t)	前月比(%)	前年同月比(%)	重量(t)	重量(t)
一般・電気機械用	4,765	103.3	131.5	4,614	3,623
輸送機械用	2,518	97.1	113.1	2,592	2,226
その他用	1,860	91.7	82.8	2,029	2,246
合計	9,143	97.4	109.2	9,235	8,095
対象工場数	68			68	68

種別	令和3年10月			令和3年9月(前月)	令和2年10月(前年同月)
	重量(kg)	前月比(%)	前年同月比(%)	重量(kg)	重量(kg)
銅・銅合金鑄物	25,239	125.6	64.6	20,088	39,077
アルミニウム鑄物	1,369,634	146.1	81.0	937,681	1,690,501

資料：川口鑄物工業組合調査、経済産業省生産動態統計調査のうち埼玉県内の事業所集計分(非鉄鑄物生産量は経済産業省生産動態統計調査による)

注1) 30人未満の事業所分は川口鑄物工業組合調査結果から下記の計算により算出しています。
有効回答の合計重量 × 調査対象事業所数 / 有効回答事業所数

注2) 「鉄鋼鑄物」…ここではねずみ鑄鉄及び球状黒鉛鑄鉄を指し、可鍛鑄鉄等を除く。

テストピース用シェル鑄型の販売価格

品名	組員価格	員外価格
◎FC用シェル (2本1組)	550円	1,100円
◎FCD用ノックオフ形シェル	550円	1,100円
◎板チル用シェル (10個1組)	495円	990円
◎発光分光分析用定盤	6,600円	1セット
◎ " " 金型	26,400円	66,000円

(税込)



川口鑄物工業協同組合

◎申込み・問い合わせは—
業務部材料試験課(直通) 電話 048-228-3047
FAX 048-224-1829

創刊63年

2022年・寅年

迎春

今年もお引立てのほどよろしくお願ひ申し上げます

第756号

稲垣鑄物材料株式会社

代表取締役社長 稲垣茂

川口市中青木二丁目四番二七号
電話 048(252)379055

鑄造用諸材料

川口鑄材店

代表取締役 中井進

川口市元郷一丁目一三番二一五号
TEL 048(251)6091
FAX 048(251)0495

鑄物材料 營業品目

- 鑄物用珪砂 ●合金鉄・黒鉛ルツボ
- 生型・有機・無機粘結剤 ●鑄造機械・鑄造プラント
- 塗型剤・耐火材料 ●誘導炉

砂金本店

〒332-0034 川口市並木一丁目一三番一〇号
TEL 048(251)58860
FAX 048(251)28860
福島県田村市滝根町広瀬字仲寺22001
TEL 0247(68)110550
FAX 0247(68)110552

新しい商品との挑戦 砂と粘結剤の専門店



(有) 岩田商店

川口市本町2-11-19
TEL 048-224-1211
FAX 048-225-3728

ご用命をお待ちいたします